

「平成27年度全国学力・学習状況調査」における結果の分析と取り組み

木曾岬町教育委員会

小学6年生・中学3年生を対象に行われた学力調査は学力の一部を把握するものであり、この調査が学力のすべてを表すものではありません。また、学習状況調査は子どもたちの学校生活や家庭生活の様子を表しています。この調査結果をもとに木曾岬町の子どもたちの強み・弱みを捉え、学校・地域と連携してさらなる取り組みをすすめてまいります。

1 学力調査の結果

※小学校においては全国平均と比較したところ、「知識」「活用」のいずれにおいても十分理解していることが確認できました。ICT機器の活用や補充学習の充実などこれまでの成果が確認できました。

※中学校においては小学6年時に実施された「平成24年度学力調査(抽出)」の結果と経年比較したところ、国語Bや数学Bなどにおいて取り組みの成果が見られました。中学校における「ユニットとルーティン(授業スタイルの統一)」「学びの共同体(グループ学習)」の取り組みの成果であると考えます。

○A問題・・・主として「知識」に関する問題(身につけておくべき基礎的な知識や技術)

○B問題・・・主として「活用」に関する問題(知識や技術を実生活の場に活用する能力)

		強み(できること・成果)	弱み(課題がみられること)	
小学校	国語	A	○話の内容に対する聞き方を工夫する ○新聞のコラムを読んで内容を捉える	○作品募集の案内の中から、必要な情報を読み取る
		B	○文章と図とを関係付けて、自分の考えを書く ○登場人物の行動を基にして、場面の移り変わりを捉える	○「目的に応じ中心となる語や文を捉え、要旨をまとめて書く」問題で無解答が多い
	算数	A	○位のそろっていない小数の計算 ○見取図を基に展開図に必要な面の大きさを読み取る	○円の性質から三角形の等辺を捉え、二等辺三角形の性質から底角の大きさを求めることができる」の問題で無解答が多い
		B	○条件を変更した場面に面積を2等分する考えを基に、分割された二つの図形の面積が等しくなる理由を記述する	○四捨五入しておよその数にして計算する
	理科	○熱膨張が小さい金属について、グラフを基に考察して分析した内容を記述する	○生物の成長に必要な養分のとり方について、調べた結果を視点をもって考察して分析する	
	中学校	国語	A	○手紙の書き方を理解して書く ○伝えたい事実を明確に書く
B			○文章の中心的な部分と付加的な部分などを読み分け、要旨を捉える	○状況に応じて、資料を活用して話す
数学		A	○垂線の作図が図形の対称性を基に行われていることを理解している ○正の数と負の数の意味を、実生活の場面に結び付けて理解している	○証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解している ○ひし形の「対角線は垂直に交わる」性質を記号を用いた表現から読み取る
		B	○事象を式の意味に即して解釈し、その結果を数学的な表現を用いて説明する ○資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的に表現し、その意味を解釈する	○平面図形と空間図形を関連付けて事象を考察し、その特徴を的確に捉える ○証明を振り返り、新たな性質を見いだす
理科		○天気の記号から風力を読み取り、風向計を使って風向を観測する	○二酸化炭素の体積を量る場面において、水上置換法では正確に量れない理由を説明する	

2 学習状況調査の結果

(1) 児童生徒質問紙

87項目の中から三重県教育委員会の「みえの学力向上県民運動」の指標に関連している項目を中心にあげています。回答の中で「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」などの回答の全国平均（公立）の割合を数値で表し、全国（公立）と比較した木曾岬町の状況を下記のように表しています。

◎・・・全国と比較してかなり良いもの

○・・・全国と比較してやや良いもの

▲・・・全国と比較してあまり良くないもの

●・・・全国と比較してかなり良くないもの

	項目	小学校		中学校		
		全国(%)	木曾岬町	全国(%)	木曾岬町	
1	基本的な生活習慣を身に付けた子どもたちの割合	朝食を毎日食べている子どもの割合	95.6	▲	93.5	●
		毎日、同じ時刻に寝ている子どもの割合	79.5	▲	75.2	◎
		毎日、同じ時刻に起きている子どもの割合	91.0	▲	92.1	○
2	自分には、よいところがあると思う子どもたちの割合	76.4	▲	66.1	◎	
3	夢や目標を持ち、挑戦する子どもの割合	難しいことでも挑戦している子どもの割合	76.4	▲	68.8	◎
		将来の夢や目標を持っている子どもの割合	86.5	○	71.7	▲
4	物事を最後までやり遂げてうれしかった経験がある子どもの割合	94.5	▲	94.2	○	
5	いじめは、どんな理由があってもいけないと思う子どもの割合	96.2	同じ	93.7	○	
6	話し合う活動をよく行っている子どもの割合	85.2	◎	68.2	◎	
7	授業のはじめに、課題（めあて・ねらい）が示されていると思う	86.3	同じ	79.7	◎	
8	授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っている	75.3	●	59.3	▲	
9	1日に全く読書をしていない子どもの割合	19.9	●	35.0	▲	
10	読書は好きな子どもの割合	72.8	▲	67.9	▲	
11	学校図書館・室や地域の図書館へ行く子どもの割合（週1回以上）	17.6	▲	8.2	▲	
12	家で、自分で計画を立てて勉強している子どもの割合	62.8	▲	48.8	▲	
13	家で、学校の宿題をしている子どもの割合	96.8	○	89.3	●	
14	家で、学校の授業の予習をしている子どもの割合	43.4	▲	35.3	▲	
15	家で、学校の授業の復習をしている子どもの割合	54.5	○	52.0	●	
16	家の人や、授業参観や運動会などの学校の行事に来る子どもの割合	96.6	○	83.4	◎	
17	地域の行事に参加している子どもの割合	66.9	○	44.8	○	
18	月～金曜日、1日に3時間以上、テレビを見ない子どもの割合	63.8	○	69.4	◎	
19	月～金曜日、1日に3時間以上、ゲームをしない子どもの割合	82.9	◎	79.3	●	
20	月～金曜日、1日に3時間以上、メール、ネット等をしない子どもの割合	94.3	○	81.5	●	
21	月～金曜日、1日に1時間以上、勉強する子どもの割合（学校以外）	62.7	▲	69.0	●	
22	土・日曜日、1日に3時間以上、勉強する子どもの割合	11.9	●	17.7	▲	
23	友だちの前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか。	51.2	●	49.6	◎	
24	友だちと話し合う時、友だちの話や意見を最後まで聞くことができる	92.9	●	93.0	○	
25	家の人と学校での出来事について話をする	79.5	◎	73.7	○	
26	学校に行くのは楽しいと思う	87.0	▲	82.1	▲	
27	自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがある	86.9	▲	75.5	○	
28	観察や実験を行うことは好きですか	90.0	○	80.1	○	

29	学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある	86.1	●	84.2	◎
30	人の気持ちが分かる人間になりたいと思う	93.9	○	94.9	○
31	人の役に立つ人間になりたいと思う	93.7	▲	93.7	○
32	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある	63.9	◎	55.9	▲

※項目1の基本的な生活習慣については全国と比較すると、小学校において3つのすべての項目において下回っています。中学校においては全国と比較すると、やや改善傾向にあります。

※項目5のいじめについての回答については全国と比較すると下回ってはいませんが、100%をめざして今後も取り組んでいきたいと思えます。

※項目18～20ではテレビの視聴時間やゲームやメール、ネットの使用時間を全国と比較すると中学校では長い結果となりました。今後もノーテレビ・ノーゲームの取り組みをすすめていきます。

(2) 学校質問紙

三重県教育委員会「みえの学力向上県民運動」の指標3項目について、全国（公立）の小中学校の達成状況を%で表しています。それと比較した木曾岬町の回答状況を下記のように表しています。

○・・・できていると回答しているもの

	項目	小学校		中学校	
		全国 (%)	木曾岬町	全国 (%)	木曾岬町
1	平成26年度調査の自校の分析結果について学校全体で活用できた	95.8	○	93.2	○
2	小6・中3を対象に前年度に学校図書館を活用した授業を学期に数回以上に行った	47.6	○	10.4	○
3	校長は、校内の授業を週2回以上見て回っている	93.1	○	81.4	○

※この3項目については、すべて達成できていました。このほかにも「授業の冒頭で目標（めあて・ねらい）を示す活動を計画的に取り入れた」「授業の中で様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をした」「本やインターネットなどを使った資料の調べ方が身に付くよう指導した」などたくさんの方の回答に成果が見られました。

3 今後の取り組み

- この調査の自校の分析結果をもとに木曾岬町の子どもに課題のある問題に授業などで取り組みます。
- 三重県教育委員会の「みえスタディチェック」や「ワークシート」を活用します。
- 校内研修の推進をすすめ、ICT機器の活用や教員の授業力の向上をさらにすすめます。
- 放課後や夏期休暇（夏休み）期間を活用し、補充学習の充実に今後も取り組みます。
- 様々な体験活動を通じて、自信をもって物事にチャレンジしようとする心を養います。
- 中学校のテスト期間に幼稚園・保育園、小学校、中学校で連携し、「木曾岬町ファミリー読書週間」を今後も継続し、読書活動の充実につとめます。
- 『子育て8つの指針』の啓発を行い、基本的な生活習慣の定着をめざします。